

ヤスデが集団発生した場合の対策

- ▶近年、町内一部の地域でヤスデの集団発生が確認されています。
- ▶咬んだり刺すことはありませんが、外壁や階段、道路に集団発生し、扉の隙間などから室内に侵入してくるなど、日常生活に大きな不快感を与えています。
- ▶繰り返し発生することから、発生後の除去についても負担の声が届いています。
- ▶町として効果的な対策の研究を進めておりますが、全国的にも抜本的解決策は見つかっていません。
- ▶今後に備えて、町民の皆さんのご協力に対策できることをお知らせいたします。



事前の対策

▼集団移動防止対策（生息地から居住地域への移動を防止）

侵入防止

▶壁面に滑る材質のものを貼り付ける

- ・養生テープ、アルミテープ、ステンレス材など、滑りやすい材質のものを塀や壁に貼り付けると効果的です。滑ってヤスデが登れなくなります。

※テープを剥がす際、粘着跡や塗装の剥がれに注意してください。

▶扉などの隙間をふさぐ

- ・屋内への侵入を防ぐため、隙間テープなどを貼ることも効果的です。

▶薬剤を使用する場合

- ・薬剤の使用は、一時的に効果があっても、やがて効きにくくなる耐性が生じることがあります。また、人や動植物への影響も懸念されます。
- ・やむを得ず使用する場合は、使用上の注意をよく読んでご使用ください。
- ・侵入されたくないところだけに帯状に撒くと効果的です。



環境整備

▶暗く湿った場所を無くす

- ・落ち葉などの有機物が堆積して湿度が高く日光の当たらない場所を好みます。草刈や落葉の除去で暗く湿った場所を作らないようにしましょう。

▼広域分散防止対策（生息域の拡大を防止）

土壌などの 移動の管理

▶土や落葉などの持ち出しに注意する

- ・生息域の拡大は、土、落葉、堆肥、植木、肥料などの移動時に卵や幼虫などが付いてくる人為的な要因が強いと考えられています。
- ・発生地はたの土などの移動は、分布拡大につながるので注意しましょう。

発生後の対策

除去

▶ほうきで叩き落として集める

- ・ほうきなどで叩くと、一時的に丸くなって集めやすくなります。集めたらごみ袋にまとめて、漏れ出ないようにきつく縛りましょう。
- ・ごみ袋に入れた状態で日光に当てておくと、自ら分泌する毒で自滅します。ごみ袋に薬剤を入れることも効果的です。

処分

▶「燃やすごみ」として処分

- ・死滅後、戸別収集の「燃やすごみ」として処分してください。

参考① ヤスデとは？

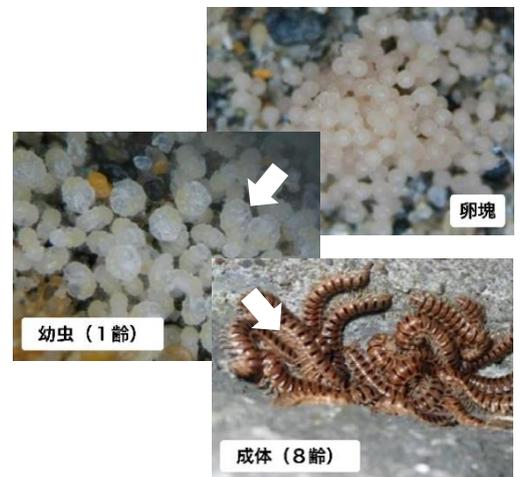
- ▶湿った場所に生息し、落葉などを分解します。
- ▶**人体や農作物に影響を与える虫ではありません**が、不快感を与える不快害虫として知られています。
※刺激を与えると、臭気を発することがあります。
焼いたり、熱湯をかけての駆除は避けましょう。
- ▶**町内で発生しているヤスデは、台湾原産の「ヤンバルトサカヤスデ」**だと考えられ、一度定着すると繁殖力の強さから**根絶は困難**とされています。



生態の詳細は町 HP

参考② ヤンバルトサカヤスデの生態

- ▶寿命1年で、卵、幼虫（1～6 齢）、亜成体（7 齢）、成体（8 齢）へと脱皮を繰り返して成長します。
- ▶同じく集団発生が確認されている静岡県静岡市では、10～12月を中心に亜成体、成体が混在した集団移動が発生し、一部で4月以降にも成体の集団移動が発生しています。



本チラシ作成にあたっての情報提供：静岡県環境衛生科学研究所 神谷貴文 氏